指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1)	公の施設の名称	倉敷市農産物処理加工施設	
(2)	指定管理者	所在地 倉敷市船穂町水江 6 1 1 - 2 名 称 ふなおワイナリー有限会社 代表者 代表取締役 岩瀬 吉晴	
(3)	公の施設の所管部署	船穗支所	
(4)	評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	

2 総合評価結果

今年度は、(1)防火・防災対策について(2)	√Λ Λ = == / 	
	総合評価	
重点的に評価を行いました。		
「(1) 防火・防災対策について」		
施設内外の整理整頓を行うことで避難経路が		
常に確保されているとともに、荷崩れなどで2次		
災害が起こりにくい状態が保たれています。		
また、防災・救急体制等安全管理運用マニュア		
ルで緊急連絡体制はもちろん、火災、地震だけで		
なく、負傷者が出た場合、盗難事故が起こった場		
合、不審者への対応など細かく状況に応じた対応		
(1) 市の評価 が定めてあり、当該マニュアルの内容について社		
員研修も実施されています。当該対策へ時間、手	D	
間をかけており十分評価できるものでした。	В	
「(2) 利用者の満足度向上に向けた取り組みに		
ついて」		
販売・試飲スペース、屋外テラス席が清潔に保		
たれており、気持ちよく飲食ができる環境にあり		
ます。また、アルコール以外の商品も楽しんでも		
らえるように、ピオーネジュース、人参スムージ		
ー、マスカットソフトクリームの販売も実施し、		
幅広い年代で好評を得ています。		
キャッシュレス決済にも対応できているほか、		

来訪が困難な方にも対応できるようにほとんど の商品がインターネット販売可能となっていま す。

ベーリーA の赤ワインやブランデーなど新商品の開発にも積極的に取り組んでおり、お客様満足度も高い状態に保たれています。

今後は、アンケートにもあったようにマルシェ の定期開催など、リピーターを増やす取り組みに ついても期待されるところです。

今期は夏の天候に恵まれたことから、改植に伴い大幅な減少が予想されたマスカット・オブ・アレキサンドリアの処理量が前期の 10.6 t から 11.3 t に、また、マスカット・ベーリーAについては地元農家の協力が得られ、前期から 0.9 t の増加となりました。

さらに、自主事業において昨年のクイーンニーナ及びシャインマスカットに加えてピオーネ、オリエンタルスター、黄玉及び「黒いアルファ」によるワインを受託醸造した結果、総処理量は19.5 t となり、目標の15.5 t を大きく上回りました。

また、倉敷市産ピオーネのストレートジュース、金時人参を 原料としたスムージー、マスカットソフトクリームに加え、白 桃ネクターを委託製造するなど、倉敷の特産品を原料とした加 工品の製造販売を通じた地域農産品の周知・宣伝に積極的に努 めました。

新型コロナによる行動制限が徐々に緩和された結果、来場者数は前期の2倍程度まで回復、販売面では、新たにマスカット・ベーリーAを原料とする赤ワイン「FUNAOMADE」及びアレキサンドリアワインを原料とするブランデー「レクシア」の販売を開始し、年間売上は約2割の増加となりました。

一方で、再発酵による一部商品の自主回収という事態を生じ、 関係各位に大変ご迷惑をおかけいたしました。今後はより一 層、品質管理体制を徹底し、再発防止に努めてまいります。

来場者アンケートによる満足度については目標の90%を上回っておりますが、今後、一層高い評価が得られるよう、来場者の声を大切にし、より良い施設管理・運営を目指してまいります。

(2) 指定管理者の自己評価

回答のあった来場者について20歳代から70歳代まで幅広い年代の方の来場がありましたが、半数以上が60代以上の高齢者となっています。市内外ともに来場者がありますが昨年よりも市外の来場者の割合が増えており、コロナウイルス感染状況が落ち着いてきたことが一因となっていると推測されます。

また、利用状況では、初めての方、複数回利用の方が半々であり、大部分が新規来場者であった昨年と比べてリピーターもある程度いる様子が見てとれます。

(3) アンケート結果の概要

管理運営については、全体満足度・職員対応・施設清潔度・ 安全対策のいずれも「満足」、「ほぼ満足」が90%を超えてい るものの、不満点もあったため、今後の改善が期待されます。

商品については、興味をひく商品・購入商品ともにマスカットを原料としたワインが中心ですが、アルコール以外の商品の記述も多く、今後の商品展開の参考となる結果でした。

自由記述では、イベントの開催を期待する声が多く、4年度に実施した複数の店舗が集まったイベントについては今後も開催してほしいとの期待の声が複数ありました。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらではありますが、継続していくことで定番化→リピーターの増加→口コミによる新規利用者獲得という良い流れを生み出すことができればと思います。

3 施設の利用状況

	令和4年度 原料処理量		
	マスカット・オブ・アレキサント	ドリア 11,264kg	
	(含 ジャ	アム加工用 936kg)	
	ピオーネ	3, 030kg	
(1) 利用実績	マスカット・ベーリーA	2, 904kg	
	クイーンニーナ	1, 420kg	
	シャインマスカット	8 9 6 kg	
	総処理量	19, 514kg	
	・ワイン、果実酒類に関する製造並びに販売		
 (2) 事業の内容	・ワインの原材料となる果樹に関する試験研究及び研究の受託		
(2) 事未(2)(1)	・倉敷市内の農産資源を活用した特産品の開発並びに製造販売		
	・ワインの原料となる果樹の栽培など		

4 収支

	総額 57、370千円			
	(営業損益)			
(1) 収入	純売上高	52,881千円		
(指定管理者の収入)	(営業外損益)			
	営業外収益	4,489千円		
	(内 指定管理料)	(3,247千円)		
	総額 67,822千円			
	(営業損益)			
(2) 支出	売上原価	29,189千円		
(指定管理者の支出)	販売費及び一般管理費	38,160千円		
	(営業外損益)			
	営業外費用等	473千円		
当期純損失 -10,452千円				
(前年度純利益 6, 566千円)				